

令和3年度 第9回
長野市住宅対策審議会議事録要旨

日時：令和3年12月27日
午後3時から午後4時

場所：長野市ふれあい福祉センター 4階会議室3

長野市建設部住宅課

長野市住宅対策審議会委員

市川 専一郎	(社会福祉法人 長野市社会福祉協議会 常務理事)
湯本 宜成	(長野商工会議所 議員・中小企業政策委員会 副委員長)
高村 秀紀	(信州大学工学部建築学科 教授)
市川 昇	(一般社団法人 長野県宅地建物取引業協会長野支部 支部長)
池森 梢	(公益社団法人 長野県建築士会ながの支部 防災委員会 副委員長)
塚田 昌宏	(長野建設事務所 建築課長)
松村 寿隆	(市営住宅 入居者)
山崎 百合子	(市営住宅 入居者)
田中 幸廣	(社会福祉法人 ながのコロニー 理事長)
北澤 百代	(長野市地域女性ネットワーク 企画部員)
柳澤 征人	(公 募)

(敬称略)

令和3年度第9回長野市住宅対策審議会議事録要旨

日時：令和3年12月27日 午後3時から午後4時まで

場所：長野市ふれあい福祉センター 4階会議室3

事務局 【開会】

令和3年度第9回住宅対策審議会を開催いたします。

本日の会議ですが、お手元の次第に従い進行させていただきまして、終了を午後4時30分頃の予定としております。

本審議会の開催にあたりましては、「長野市執行機関の附属機関の設置等に関する条例」第6条第2項の規定により、「委員の半数以上が出席しなければ開催できない」となっております。本日は10名の委員の方々が出席しておりますので、会議は成立いたします。

また、審議会等の公開に関する指針により、原則公開とし会議の結果の内容につきましても、ホームページなどにおいて市民に開示することとなっておりますので、あらかじめご了承願います。

本日も長野市第三次住宅マスタープラン後期計画の策定支援を委託しております東日本総合計画㈱も出席しておりますので、よろしく願いいたします。

開会にあたりまして、小林建設部長よりご挨拶申し上げます。

部長 【挨拶】

事務局 それでは、審議を進めさせていただきます。

「長野市執行機関の附属機関の設置等に関する条例第6条第1項の規定により、「会長が、会議の議長となる。」となっておりますので、高村会長に、議事の進行をお願いいたします。

高村会長 本日はお忙しい中、御出席いただきましてありがとうございます。

それでは審議に入ります前に、本日の会議について議事録を確認していただく委員を決めたいと思います。今回は池森委員と柳澤委員にお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

了承

それでは審議に入ります。

円滑な会議が進行できますよう、皆様のご協力をお願いします。

事務局から最終案について説明をお願いします。

事務局 【事務局説明】

資料1について説明

高村会長 資料1についてご意見・ご質問等をお願いします。
「特になし」

事務局 【事務局説明】
資料2、資料3について説明

高村会長 資料2、3についてご意見・ご質問等をお願いします。

池森委員 資料2の68ページの市営住宅の供給必要戸数の推計結果の中で、10年間とはいつからいつまでの事でしょうか。

事務局 令和4年から10年間です。

池森委員 資料2の54ページのゼロカーボンに向けた取組の中で、太陽光発電設備で発電して消費エネルギーをゼロにするという考え方ですが、太陽光発電ありきとなっている。信州らしさということであれば、木質バイオマスや薪ストーブなどは長野市ならではとして良いのではないかと。県の「信州健康ゼロエネ住宅」には木質バイオマスが入っているかは不明ですが、いつもこのような部分が抜けてしまうので、太陽光だけということではなく、プラスとして木質バイオマスなどを先進的に取り上げてほしいと思います。

事務局 54ページの図表4-4のイラストや文言についても太陽光だけでなく記載を工夫したいと思います。

事務局 55ページの長野県の「信州健康ゼロエネ住宅指針(案)」については、木質バイオマスが反映されています。ご指摘の点については修正の検討を行います。

柳澤委員 今の信州型ということと、省エネとかゼロカーボンなど出ていますが、基本的に感じていることで、炭素の発生を抑制しようとする政策はたくさんあるが、どうしても発生しているものについては、如何に削減していくかというものが無いように特に感じる。建築指導課の話になるのか分かりませんが、最近の住宅建設を見ていると、非常に緑に対するものが無くなっており、逆に炭酸ガスが出ればそれを吸収して改良していくというシステムの方向性が薄れているのではないかと感じます。

以前は住宅建設五箇年計画などで進めてきたが、日本は住宅が狭くて環境が非常に悪いということから、環境をよくして緑を増やすということをやってきたが、最近狭く、悪くなってきているのではないかと。特に緑に対する意識もなくなってきているのではないかと感じますが、その辺について市がどのように考えているかご意見をお聞きしたいと思います。全国的な傾向であると思いますが、敷地が狭く経済的なこともあるかと思いますが、そうすると自然に緑化が減って行ってしまいます。駐車スペースなどが多くなってきていると感じていますが、住宅施策として何か提言していく視点があるのではないかと感じています。

事務局 緑化は公園緑地課で緑化計画というものは行っております。敷地が狭くなってきているというお話なんですが、敷地の最低面積などは地区計画などで最低の面積を設けており、敷地の緑化のルールを定めて緑化を進めている地区もあります。

柳澤委員 ゆとりある住まいづくりという言葉では示されているが、建築自体はゆとりあるものとなっているが環境と一体化していないのではないかと感じています。

池森委員 マスタープランは住宅の「戸」、そのものについてのみ書いてあって、敷地については書いていないのではないかと。敷地の緑化は大事であると思いますが、そこまで広げて書いていくのかというのがある。書いていいのであれば敷地の緑化は大事な事であると思います。

事務局 資料2の58ページの4の2の①に地区計画や建築協定の活用について位置づけをしています。

池森委員 地区計画はかなり限定的であり、市内ではそんなに指定されている場所はないので、柳澤委員がおっしゃるような、もっとまち全部を良くするような意味とはちょっと違うのかなと思います。

事務局 資料2の51ページ3-2の②に住宅地の緑化促進を位置付けています。また、市の建築課の施策の中で、市の公共建築物を整備する場合、低層の1、2階の公共施設は、木造や木造化を推進しております。記載のとおり、県産材を活用することによって、ウッドショックなどにより材木の供給が不足しても県内の材木を使用することにより市場を回し、林業の活性化を含め、二酸化炭素を吸収していくというサイクルを目指してやっていきたいと思っております。また木造化についても市も積極的に進めていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

高村会長 よろしいでしょうか。それではそのほかどうでしょうか。

池森委員からご指摘いただいた意見ですが、若干の修正になるかと思えます。この点につきましては、最終案として事務局と私にご一任させていただきまして、進めさせていただくということでよろしいでしょうか。

全員賛同

それでは、その他についてご意見が無いということで進めさせていただきたいと思えます。

続きまして、答申の方法について、事務局から説明をお願いします。

答申につきましては高村会長から市長へ答申していただきたいと考えておりま

す。答申の日程につきましても、会長とご相談させていただき、執り行う予定で進めさせていただきたいと思いますが、日程は1月13日木曜日午前11時から行う予定であります。先ほどご意見のあった内容について一部修正を経て1月13日には別冊の本文の内容をもって答申をさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

このことにつきまして、何かご意見はありますか。

高村会長 答申の方法につきましては、よろしいでしょうか。
それでは、答申につきましては、私（会長）が行わせていただくことといたします。
以上をもちまして、本日の審議は終了いたします。
このほか、事務局から連絡等ありましたらお願いします。

事務局 特にございません。

高村会長 それでは、本日の審議は終了いたします。
大変ありがとうございました。

事務局 大変ありがとうございました。これで会議は終了となりますが、最後に小林部長よりご挨拶を申し上げます。

小林部長御礼のあいさつ

事務局 ありがとうございました。
長時間にわたるご審議、お疲れさまでございました。
以上をもちまして、第9回住宅対策審議会を終了いたします。

第9回住宅対策審議会議事録要旨を確認しました。

令和4年1月18日
長野市住宅対策審議会委員

氏名

池森 栞

令和4年1月24日
長野市住宅対策審議会委員

氏名

柳澤 征人